

JL NEWS
Japan League on Developmental Disabilities

May 2025 | 号外号

直接支援現場における
人材養成の基盤を考える

令和6年度から、国の強度行動障害者支援施策が大きく変わりました。私は、強度行動障害者支援者養成研修がスタートする前段から、研修プログラム作成や調査研究に携わっており、この変化は喜ばしく思う反面、乗り越える壁の大きさも感じています。

強度行動障害者支援の人材養成は、生活介護、障害者支援施設、共同生活援助等の直接支援現場で活躍する支援員が主な対象です。はじめて支援現場に立つ人がステップアップするプロセスを、次のように考えてみます。

ステップ1：先輩の指導や手本に従いながら自ら身体を動かし、支援方法を学ぶ（事前準備含む）

ステップ2：先輩がいなくても手順書等を確認することで、適切な支援を実施する（事前準備含む）

ステップ3：支援の継続による利用者の変化を理解し、今後の計画に活かす（記録の整理と解釈）

ステップ4：具体的な手順書等の作成や修正を行い、周囲の支援員への周知・理解を求める

ステップ5：当事者目線から望ましい生活に向けての中長期のプランの立案と支援体制の構築を図る

強度行動障害者養成研修や新しい中核的人材養成研修は、ステップ2～ステップ4に相当するプログラムです。ステップ5は、サービス管理責任者や相談支援専門員といったケースマネジメントに相当するスキルです。問題は、ステップ1です。

塗装工なら、現場で先輩からの指導を受けながら、刷毛やローラー等の用具の管理や施工スキルを、実際の現場でOJT（On the Job Training）を通して学ぶことになります。その後、施工後の品質の見極め、気候や現場環境の違いによる応用技術を取得し、プロの塗装工に育っていきます。強度行動障害者支援においても、「標準的な支援」が実装されている支援現場では、同様のOJTが実施されているはずですが、一方、標準的な支援のない（ステップ1のOJTが難しい）現場では、研修でステップ2以降から初めて学ぶことになります。不安です。

発達障害・知的障害のある人の支援現場では、年々、人材確保が難しくなっています。同時に、人材養成の基盤となるべき、最初のOJTの重要性も増しています。

（日本発達障害連盟 常務理事 志賀利一）



公益社団法人 日本発達障害連盟

私たちは、世界の知的障害・発達障害のある人々が、障害のない人と共に参加する共生社会の実現を目指しています。

【構成団体】

一般社団法人
全国手をつなぐ育成会連合会公益財団法人
日本知的障害者福祉協会一般社団法人
全日本特別支援教育研究連盟一般社団法人
日本発達障害学会

編集：公益社団法人 日本発達障害連盟 会長 小澤 温

〒114-0015 東京都北区中里 1-9-10 パレドール六義園北 402

TEL：03-5814-0391 FAX：03-5814-0393 URL：http://www.jlidd.jp/

発行：障害者団体定期刊行物協会（SSKP）

〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17 ヴェルドゥーラ祖師谷 102

※無断転載・複製を禁じます。 2025年5月12日発行 定価100円

発達障害の人の児童期から 青年期への成長を支えるセミナー

～自閉スペクトラム症の特性を活かした取り組み～

POINT

知ること



自閉スペクトラム症（ASD）の成人期および子ども期をテーマに、個々の特性に合わせたソフトスキル支援や自立支援の重要性を学びます。梅永雄二先生が成人期ASD者のソフトスキルの課題と支援を、林大輔先生が子ども期ASD者の自立課題や予防的支援を具体例と共に解説します。対話を通じた相互理解の価値や合理的配慮の実現方法を深く掘り下げ、社会で活躍するための実践的な知識を提供します。

POINT

気づくこと



自閉スペクトラム症（ASD）の特性に基づく支援方法の重要性についてお話します。成人期にはソフトスキル習得の課題や支援のアイデア、子ども期には個別支援や予防的対応の必要性について解説します。対話を通じた相互理解が合理的配慮を機能させる鍵であることを学び、特性を活かした自立的な社会性を育む実践例が持つ価値に気づくことが期待されます。

POINT

活かすこと



ASD特性を持つ方への合理的配慮の実践方法や、個別のニーズに応じた環境調整スキルを身につけ、相互理解を促進する対話の技術を習得を目指します。また、予防的対応による困難の軽減方法や、自立支援における適切な課題設定の知識を得ることで、現場でより効果的な支援を実施する能力が高まる事が期待できます。

成人期 ASD 者に対 するソフトスキルの重要 性と支 援のあり方 AM10:00～12:00



梅永 雄二 氏(早稲田大学 教育・総合科学学術院 教育心理学専修 教授)

自閉スペクトラム症を中心とする発達障害児者のキャリア教育、社会参加、就労支援をベースに研究著書「教師、支援者、親のための境界知能の特性と支援がわかる本」(中央法規)
「発達障害の人の「就労支援」がわかる本」(講談社)

PM13:00～14:45 児童期で様々なスキルを高めるために ～自立課題で学ぶこと～

((福) 大府福祉会 たくと大府 施設長) 林 大輔 氏

著書「TEACCH プログラムに基づく 自閉症児・者のための自立課題アイデア集

—身近な材料を活かす 95 例」(中央法規)

「自閉症・知的障害者支援に役立つ氷山モデル・ABC 分析シートの書き方・活かし方」(中央法規)



シンポジウム『発達障害のある人の成長を支えるために』

PM15:00～16:30



【コーディネーター】

志賀 利一 氏 (公社) 日本発達障害連盟 常務理事)

障害者支援において、療育、就労の現場から、国立重度知的障害者総合施設「のぞみの園」での調査・研究や研修の実施など、幅広い分野で活躍

2025 **7.26 (土)**

会 場 北とぴあ 701 会議室 東京都北区王子 1-11-1

参加費 一 般 13,000 円
会員価格 11,700 円

※準会員・賛助会員にご入会いただきますと
10%割引が適用されます。(人数制限あり)

2025年度 自閉症セミナー

自閉症支援のコアスキルを学ぶ

～事業所において共生社会の実現を目指すには～

POINT

知ること



①障害特性の理解 ②支援の手順書に基づく支援
③日々の記録をとる事等を学びます。
なぜ特性を知る必要があるか？なぜ記録を取る必要があるのか？支援とは何か？について事例とグループディスカッションを通して理解を深めていきます。
また、コミュニケーションスキルの大切さや支援の構造化について学び、職場内での意見交換（議論）を繰り返すことでバランスを探ることの重要性を確認します。

POINT

気づくこと

同じ支援者である受講生の皆さんと、立場や事業所のことを共有しながら・・・

改めて事業所の良さや強みを振り返る場とし、また同時に他事業所の強みも知り、それらを事業所に持ち帰って、より良い支援現場に繋げるというきっかけを得る機会にもなります。

POINT

活かすこと



2022年度から続く大好評を頂いているPREP法を用いたグループディスカッションを多く取入れた研修です。
初めて受講する方も、以前受講された方も、新たな視点からの気づきや、発見を得る事ができます。
事業所において円滑な支援を行う為の意見交換の手法を学ぶとともに、ディスカッションで得た事が明日からのより良い支援に繋がっていきます。

こんなセミナーです

- 障害者施策に関する国の調査・研究に幅広く携わり多様な分野で活躍してきた講師が、支援現場で得た豊富な経験と、幅広い知見をもとに講演。
- 直接支援や教育に携わる個々の学びと同時に、実際の支援現場で標準的な支援をどのように展開するかを演習を通して考える。
- 事例報告を基にディスカッションを実施。①コミュニケーション支援でライフステージ適応した自閉スペクトラム症のケース、②記録活用でニーズに合った支援へつなげたケース、③チーム支援で強度行動障害の方に変化をもたらしたケース。

GUEST SPEAKER



志賀利一氏

公益社団法人 日本発達障害連盟 常務理事
PDD サポートセンター グリーンフォレスト 理事長
(独) 国立重度知的障害者総合施設のぞみの園 参事

【著書】知的障害・発達障害の人たちのための新・見てわかるビジネスマナー集 (ジアース教育新社)



日詰正文氏

公益社団法人 日本発達障害連盟 理事
(独) 国立重度知的障害者総合施設のぞみの園
総務企画局 研究部 部長

【著書】対話から始める 脱！強度行動障害 単行本
- (2022) (編集：分担)



種村祐太氏

NPO法人
発達障害サポートセンタービューア
理事・統括マネジャー
大阪PECSサークル代表
TEACCH研究会大阪支部運営委員等



縄岡好晴氏

明星大学 人文学部
福祉実践学科 准教授

【著書】気になる子のインクルーシブ教育・保育 (中央法規)
障害福祉に関する法律・支援・サービスのすべて (ナツメ社)



宮崎義成氏

NPO法人あおぞら・
発達障がい児者支援室室長

スケジュール

【1日目 8月30日(土)】

10:00 開会
10:10～11:30 自閉症支援を学び続ける長い旅路
講師 志賀利一・日詰正文
11:30～12:00 オリエンテーション 講師 縄岡好晴
13:20～ グループワーク1 } 講師 縄岡好晴
14:30～ グループワーク2 } 種村祐太
15:30～ 一日のまとめ

【2日目 8月31日(日)】

10:10～12:10 ディスカッション } 講師 宮崎義成
グループ発表
振り返り
13:10～15:00 ディスカッション } 講師 種村祐太
グループ発表
振り返り
15:00～15:30 全体ワークシートのまとめ発表
講師 縄岡好晴

開催日

2025年 8/30(土) 31(日) ※2日間の連続セミナーとなります
(受付 9:40 -) 10:00 - 16:00 10:00 - 15:30

場所

北とぴあ (東京都北区王子1丁目11-1)

定員

100名

受講料

2日間 一般 17,500円 準会員・賛助会員 15,750円

※準会員・賛助会員にご入会いただきますと受講料10%割引が適用されます。(人数上限あり)

支援者を伸ばす実践セミナー

定員 100 名

子どもの見立てと 家族支援の重要性

～発達支援の本質を理解し共に成長しよう～

2025 **9.13(土)** ~ **9.14(日)**

会場 北とぴあ 1601 会議室 東京都北区王子 1-11-1

参加費 一般 17,500円 ※準会員・賛助会員にご入会いただきますと
会員価格 15,750円 10%割引が適用されます。(人数制限あり)

支援者としての育ちを確実なものにしていくために、ともに解決していくチームの一員として自分が機能するということの大切さを重視します。それには子どもの見立て、そして子どもをとりまく環境の中で最も影響力が大きいと考えられるのが家族システムだということの理解を深めていきます。今回のセミナーでは井之上先生に医療現場での視点からのヒントをいただき、西澤先生には2020年に開催したオンラインセミナーで講演いただいた故玉井先生のビデオにエッセンスを入れていただき、事例検討では現場感を共有することで明日からの支援に役立つ場になればと思います。

子どもの見立て



井之上 寿美氏

島田療育センターはちおうじ
神経小児科 医師

子ども達の発達について、保護者をはじめ、子ども達に関わる多くの支援者の方々を対象として、身体の発達、心の発達などから、発達に特性を有する場合の気づきや理解と支援について、就学前～就学後の流れを踏まえて、療育診療に関わる小児科医の視点からお伝えしたいと考えています。
前半で講義、後半で事例検討を予定しています。

家族支援の重要性



(故)玉井 邦夫氏 ※ビデオ出演

(公財) 日本ダウン症協会 前代表理事
(公社) 日本発達障害連盟 前理事



西澤 由佳子氏

こん小児科クリニック
臨床心理士、公認心理士

子どもの発達支援と家族支援がどのような関連性をもっているのかについて、家族システムという考え方に基づいて理解していきます。前半は玉井先生がお亡くなりになる前にオンラインセミナーを実施した際のビデオを手掛かりに西澤先生に深めていただき、後半は事例検討を予定しています。

スケジュール

※2日間の連続セミナーとなります

1
日
目

9:55 開会
10:00~11:40 井之上 寿美氏 講義
11:40~12:30 質疑応答
12:30~13:30 昼休憩
13:30~14:00 アイスブレイク
14:00~15:00 事例検討
15:10~15:40 グループ発表
15:40~16:10 質疑応答

2
日
目

9:30~11:10 ビデオ 玉井 邦夫氏 講義
11:20~12:30 西澤 由佳子氏 講義
12:30~13:30 昼休憩
13:30~14:00 アイスブレイク
14:00~15:00 事例検討
15:10~15:40 グループ発表
15:40~16:10 質疑応答

2025年度発達障害医学セミナー

発達障害児の知的機能の 理解とサポート

12/20(土)
10:00~17:30
定員 100名

会場

青山学院大学 青山キャンパス
〒150-8366東京都渋谷区渋谷4-4-25

参加費

一般会員 12,500円 ※準会員・賛助会員にご入会
賛助会員 11,250円 いただきますと
10%割引が適用されます。
(人数制限あり)

今回の医学セミナーのテーマは、発達障害児(者)の知的機能・適応行動の制約の理解とサポートとしました。現場では、知的障害の有無で支援を変えることがしばしばありますが、そもそも知的障害は単に知的機能だけでなく適応行動の明らかな制約があるものです。適応行動の制約は発達障害のすべてのタイプに生じるものです。

診断タイプ別ではなく、発達障害に普遍的にみられやすい知的機能や適応行動の支援について、今回も著名な講師の先生方をお招きして、それぞれの視点で講義をいたします。さらに、今回初めての企画として、境界知能の当事者と家族に登壇いただき体験談をお話しいたします。

本セミナーを受講した皆さんに、実践や新しい知見をお伝えすることができて、明日からの臨床や支援の現場に、必ず役に立つのではないかと考えています。多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

『知的障害の併存のある
発達障害児に対する地域支援』



本田 真美氏

あのあのねコドモくりにっく 院長
著書『小児リハビリテーションポケットマニュアル』『子どもの「ほんとうの才能」を最大限に伸ばす方法』

『療育手帳制度を考える：
支援の限界と課題』



前本 達男氏

国保旭中央病院小児科 医師

※登壇順不同

『知的障害・発達障害の人たちのQOL
はどうすれば保障できるだろうか?』



本田 秀夫氏

信州大学医学部
子どものこころの発達医学教室 教授
著書『知的障害と発達障害の子どもたち』『マンガでわかる 発達障害の子どもたち 自閉スペクトラムの不可解な行動には理由がある』

『発達障害とゲーム・ネット・スマホ
デジタル機器との付き合い方を考える』



吉川 徹氏

愛知県医療療育総合センター
中央病院子どものこころ科 部長
あいち発達障害者支援センター副センター長
著書『対話から始める脱! 強度行動障害』など

『境界知能; 教育、福祉、医療から
見落とされた人』
※当事者との対談も予定



古荘 純一氏

公益社団法人日本発達障害連盟 理事
青山学院大学 教育人間科学部教育学科 教授
著書『境界知能』『DCD発達性強調運動障害』など

再配信

オンデマンド研修 4回シリーズ

※2024年度にオンデマンド配信した動画を
再配信いたします

各話
3,300
(税込)

知的障害・発達障害のある人への 「対話」を通じた就労支援 ～合理的配慮に着目して～

就労支援の対話って？
どう進めたらよいの？



就労における
合理的配慮とは何？

具体的には
どう支援をして
いけばいいの？



職場での
相互理解ってどうす
ればいいのか？

成功事例が
知りたい！



これまでわたしたちが取り組んできた調査から、組織（企業等）と障害者の相互理解を促進するためには「対話」（ダイアログ）が有効であることが明らかになりました。本研修では、知的・発達障害のある人の合理的配慮や合理的配慮をめぐる対話について、当事者と組織といった両者の視点から理解を深める内容になっています。

01 就労支援に必要な「対話」

講師 中尾文香氏 NPO法人ディーセントワーク・ラボ 代表理事



・就労支援事業所における支援の難しさ・分かり合えなさの正体・それぞれの主観フィルター（メンタルモデル）・個々人にとっての適切な学習モデル・よい学習をした事例・ダイアログ（対話）の進め方等

02 就労支援事業所における「対話」-具体的な支援について-

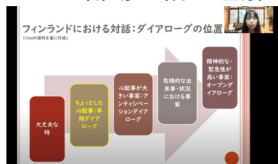
講師 濱松若葉氏 津田塾大学 学芸学部 国際関係学科 助教
仲本 順子氏 株式会社ソルファコミュニティ サービス管理責任者



・賃金向上には職場内の会話が不可欠。例えば、一般社団法人村ワーカーズホームでは、コーヒー農園からカフェまでを障害者就労B型事業で一貫運営し、安定した品質を確保。ソルファコミュニティTEAM VILLAGEでは「農業×福祉」で農福連携を推進し、合理的配慮やミーティングを活用。個々の特性に合った整理方法を見出し、支援と気持ちの言語化を通じて働きやすい環境を構築。

03 職場で相互理解を促す「対話」とは

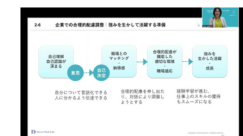
講師 片山優美子氏 長野大学社会福祉学部教授



・障害者雇用における「対話」とは何をもたらすのか深く掘り下げていきます。
「対話」の意味や理論から概観をとらえ、相互理解をする一歩として自分を知り、価値観の相違を尊重し、一人ひとりが「聴く＆話す」を大切にする。お互いの共通点を大事にしつつ違いを尊重し合い、相手を知ろうとする対話がお互いに求められる。

04 強みの発揮につながる合理的配慮

講師 高橋亜矢子氏 株式会社プーカー ミドルマネージャー



・対話がどのように合理的配慮に繋がり、それを実際に活かしていくか支援をしていくか掘り下げていきます。自己理解とそれに基づいた自己決定の課題について 強みを生かして活躍するとは？ 企業での合理的配慮調整について 対話により配慮を機能させ支援する 対話による支援がもたらすものとは？

配信期間

8.1(金)～9.30(火)

9.1(月)～10.31(金)

- 01 就労支援に必要な「対話」
- 02 就労支援事業所における「対話」

- 03 職場で相互理解を促す「対話」とは
- 04 強みの発揮につながる合理的配慮

お申込期間 **チラシがお手元に届いた時点からお申し込み頂けます。**

各話配信中はお申込み可能ですが、配信期間の延長はございませんのでご注意ください。

相談支援を知って、関係機関が連携しませんか？

障害のあるこどもの相談支援 オンデマンドセミナー

今回初めて「相談支援」をテーマに取り上げました。相談支援はこどもと家族、地域を結ぶ重要な役割を果たしています。分野の垣根を超えて協働する第一歩になることを期待しています。

障害のあるこどもの相談支援 オンデマンドセミナーコーディネーター 光真坊 浩史
一般社団法人全国児童発達支援協議会 (CDS-Japan) 理事

受講料
各話 3,300円
(税込み)

2025

配信案内 シリーズ①、② 8/1 (金) ~9/30 (火)
シリーズ③、④ 9/1 (月) ~10/31 (金)

①障害福祉分野における相談支援の仕組みと役割

藤川雄一氏 埼玉県相談支援専門員協会、前厚生労働省相談支援専門官

障害のあるこどもが地域で安心して育っていくためには切れ目のない相談支援が不可欠です。本講義では、障害福祉分野における相談支援について、その目的や仕組み、役割といった基本的な知識から、教育や医療、保健、行政などの関係機関との連携やネットワーク構築などについて、自立支援協議会や基幹相談支援などにも触れながら解説します。

②相談支援体制構築の取り組み(乳幼児期編)

③相談支援体制構築の取り組み(学齢期編)

橋詰 正氏 上小圏域基幹相談支援センター・所長

乳幼児期は発達支援への入口であり、健診など保健との連携した早期の気付きと療育への繋ぎのほか保育所等へのチーム支援、保護者支援が重要です。学齢期は放デイや家庭でのその子らしい過ごしの保障や卒後を見通した支援などが不可欠で、教育と福祉の連携も課題となっています。ここでは、発達段階に応じた支援体制の構築や地域での実践について解説します。

④障害児通所支援等と行政による地域療育支援体制構築の取り組み (小郡市:児童発達支援センターなどを中心とした地域支援の4つの中核機能整備を含む)

岸 良至氏 一般社団法人わ・Wa・わ 理事長

障害のあるこどもとその家族が地域で安心して暮らせるよう、行政と地域の様々な関係機関が連携し、切れ目のない支援体制を構築することが大切です。地域自立支援協議会こども部会を中心に、関係機関の連携強化や研修等を通じた人材育成など、行政と協働して地域づくりを進めている福岡県小郡市の取組を通して考えます。

2025年度 開催セミナー

1 発達障害のある人の児童期から成人期への成長を支える

日 時

2025年7月26日 (土)

1-① 参集型

1-② オンデマンド型

お申込み▼



2 自閉症セミナー

日 時

2025年8月30日 (土)

—31日 (日)

お申込み▼



3 実践セミナー

日 時

2025年9月13日 (土)

—14日 (日)

お申込み▼



4 発達障害医学セミナー

日 時

2025年12月20日 (土)

4-① 参集型

4-② オンデマンド型

お申込み▼



5 就労支援オンデマンドセミナー

日 時

5-① シリーズ①、②

2025年8月1日 (金)

—9月30日 (火)

5-② シリーズ③、④

2025年9月1日 (月)

—10月31日 (金)

お申込み▼



2か月配信

6 障害児相談支援オンデマンドセミナー

日 時

6-① シリーズ①、②

2025年8月1日 (金)

—9月30日 (火)

6-② シリーズ③、④

2025年9月1日 (月)

—10月31日 (金)

お申込み▼



2か月配信

お申込みの流れ

インターネット
お申込

確認メール
送信

メールにて
請求書送付

※メールに送金口座
の記載があります

※ご希望があった
場合のみ

ご入金手続き

※2週間以内に払込票のセミナー番号
をご記載の上、ご入金ください。ご入
金を確認されない場合はキャンセルと
させていただきます。

受講者証兼領収書・当日詳細はセミナー受講者の方にセミナー
開催2週間前(予定)に申込時のメールアドレスにお送りいた
します。受講者証は当日プリントアウトしてご持参ください。
(資料集は当日配布となります)

払込取扱票	
口座記号・番号はお間違えないよう記入してください。	金額
00 001807 196715	金 額
公益社団法人 日本発達障害連盟	千 百 十 万 千 百
参加セミナー番号 例) 1-①	料 金
【参加者名】	備 考
【参加人数】	

注意事項

- 参加される方の理由によるキャンセルにつきまして、ご入金後の払い戻しは出来かねますので、予めご了承ください。お申込みの取り消しはできませんが、代理の方の出席は可能です。
- 会場内での撮影、録音については、著作権の関係上ご遠慮ください。
- PC等の持ち込みにつきましてタイプ音が他の受講者の迷惑になる場合がございます。講義中は使用できませんのでご了承ください。
- 準会員、賛助会員割引適用は、構成団体とは別になります。ご注意ください。

お申込み
お問合せ

公益社団法人 日本発達障害連盟

〒114-0015 東京都北区中里1-9-10パレドール六義園北402

☎ 03-5814-0391

✉ seminar25@jlidd.jp

WEBからも
お申込みいただけます
<http://www.jlidd.jp>

